

# 町のわだい



今月の題字 瀬川 依吹君 (荒川小2年)

## 新巻きザケ作りを体験 おいしさの秘密を学ぶ

12月11日、山田南小(小島正弘校長)、織笠小(鎌田達也校長)、轟木小(八重樫浩二校長)の児童45人が織笠川サケ採卵場、船越小(千葉浩之校長)の児童19人が船越漁協荷捌き場で新巻きザケ作りを体験しました。児童たちは、以前自分たちで塩漬けにしたサケを水で洗う作業を体験。三陸やまだ・船越湾漁協の皆さんの指導を受けながら取り組みました。轟木小6年の篠澤麻衣さんは「新巻きを作る大変さと、作ってくれる皆さんのおかげで新巻きがおいしくなることが分かりました」と感想を話していました。



## 「いのち」について学ぶ 人権のつどいに390人参加

12月4日、町中央公民館大ホールで人権のつどいinやまだが開催されました。これは人権について考えてもらおうと、近隣市町村が持ち回りで毎年開催しているもの。この日は、町内の生徒など390人が参加しました。佐藤信逸町長は「社会問題になっているいじめ。皆さんには人権について学び、いじめのことも考えてほしい」とあいさつ。その後、粉川妙子氏(尚絅学院大学子ども学科教授)による講演「いのち」について」が行われました。命の大切さを説き、いじめや差別などを無くそうと訴える粉川氏。参加者は、その言葉に真剣に耳を傾けていました。

## 検挙率ワースト1位の汚名返上へ 飲酒運転撲滅啓発活動を実施

12月20日、飲酒運転撲滅啓発活動が行われました。これは山田町地域安全推進連絡協議会(佐藤信逸会長)が主催し毎年行っているもので、ことしは5団体30人が参加。町内の飲食店を回り、啓発グッズを手渡ししながら飲酒運転防止を呼びかけました。本町の飲酒運転検挙率は、ことし県内ワースト1位を記録。そのため、こうした活動が重要となっています。参加した宮古警察署金交通企画係長は「飲酒運転をしないという意識付けや、環境づくりが大事。ハンドルキーパーを決めるなど、声を掛け合い飲酒運転を無くしましょう」と対策を話しました。

